

第1回研修会

【講話】

「生徒の様々な活動をサポートしたい ～津高図書館の実践～」

三重県立津高等学校図書館 主査（学校司書）井戸本吉紀 氏

実践報告

(1) 津高等学校の紹介

- ・ 創立 143 周年の伝統校
- ・ 生徒数 952 人
- ・ Super Science High School 指定 4 期目（県内初）

(2) 津高図書館の概要

- ・ 蔵書数 2.8 万冊
- ・ 図書部 3 人
- ・ 図書購入予算 70 万円/年

(3) 津高図書館の方針

- ・ 「種を蒔け、心を揺さぶれ。津高生は将来化ける」
- ・ 「教職員に御用聞き（ヒアリング）に行け」
- ・ 生徒さんそれぞれのやりたいこと、困っていることをサポートできる図書館。

(4) 津高図書館の実践

① 使いやすくする・知ってもらう

- ・ 好奇心を刺激する場所に。
 - ・ 授業で使ってもらいたい。
 - ・ もっと知ってもらいたい。
- 青空図書館、職員室へ出張図書館

- ・ 生徒の意見を反映させたい。
- 図書館通信に生徒の本の感想を紹介する、模擬選挙、
図書委員が選んだ漫画を配架

② 生徒・学校のニーズに応える

- ・ 趣味が同じ生徒が交流できる場、ほっとできる場が欲しい。
- 図書室の一角に癒やしの空間を作る。BGMを流す。
- ・ お弁当を暖かい場所で食べたい。
- 館内のギャラリーのみ飲食可にする。ギャラリーに本を展示。
- ・ 部員を増やしたい。
- 邦楽部によるお箏演奏会。軽音学部によるライブ。
演劇同好会による朗読劇。書道部の作品展。
 - ・ 頑張っている生徒をもっと応援したい。

→ 現役津高生や卒業生を講師に招いて車座トーク。

